

令和3年8月30日

愛南町議会

議長 原田 達也 殿

産業厚生常任委員会

委員長 鷹野 正志

所管事務調査報告書

産業厚生常任委員会の所管事務の調査を実施したので、愛南町議会会議規則第76条の規定により、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

《第1回》

1 日時

令和3年6月24日（木） 午前10時00分から

2 開催場所

議員協議会室

3 出席委員（7名）

鷹野 正志、嘉喜山 茂、吉田 茂生、少林 法子、佐々木史仁、
中野 光博、山下 正敏
原田 達也（オブザーバー）

4 調査事項

本年度執行中の主要工事の進捗状況調査

5 調査内容

繰越事業を含んだ主要工事21事業から調査対象事業の選定を行う。

- ① 山出憩いの里温泉やすらぎ交流館等施設改修工事（商工観光課）
- ② 御荘平山地区農道新設工事（農林課）
- ③ 網代漁港漁村再生交付金工事（水産課）
- ④ 魚神山漁港海岸保全施設整備工事（水産課）

以上4か所を次回現地調査する。

《第2回》

1 日時

令和3年7月20日（火） 午前9時00分から

2 開催場所

議員協議会室及び現地（山出憩いの里温泉やすらぎ交流館、御荘平山地区農道、網代漁港、魚神山漁港）

3 出席委員（7名）

鷹野 正志、嘉喜山 茂、吉田 茂生、少林 法子、佐々木 史仁、
中野 光博、山下 正敏
原田 達也（オブザーバー）

4 調査事項

本年度執行中の主要工事の進捗状況調査

5 説明員の職氏名

商工観光課 課長 兵頭 重徳、課長補佐 大森 安洋
農 林 課 課長 吉村 克己、課長補佐 蕨岡 努 係長 小栗 和也
水 産 課 課長 長田 岩喜、課長補佐 高橋 裕司、係長 加洲 裕史
係長 宮脇 司 係長 広瀬 琢磨

6 調査内容

各課長から主要事業に係る概要説明や進捗状況についての机上説明を受け、その後現地調査を行った。

帰庁後、担当課に補足説明を求め、その後取りまとめを行った。

7 調査結果報告（まとめ）

当委員会は、本年度執行中の主要工事の進捗状況について取りまとめたので、その結果を報告するものである。

築 27 年の山出憩いの里温泉やすらぎ交流館等施設の改修事業については、新型コロナウイルス感染リスクの低減を図る環境・施設改修であり、今後、本町の観光拠点の一つとして、多くの町民が施設を利用するにとどまらず、交流人口の増大にもつながるものと大いに期待するものである。

また、平成 19 年度から指定管理を受けている事業所は、障がい者の就労を支援しており、社会参加・雇用の施設として今後も事業を継続していただきたい。

なお、指定管理施設を改修する場合には、町の方向性を明確にすべきであるという意見があった。

御荘平山地区農道新設工事は、幅員が狭小で行き止まりとなっている農道を町道に連結することで、柑橘農家の搬送



作業の効率化や利便性の向上を図り、また、災害時の避難路ともなる地区住民待望の農道の新設工事であり、工事も順調に進捗している。



網代漁港漁村再生交付金事業、並びに魚神山漁港海岸保全施設整備事業については、台風等の高波やうねりの影響を直接受ける地域であり、漁業活動への支障の軽減や家屋、生活、命を守るために必要な事業である。費用対効果は妥当で工事も順調に進捗しており、工期内の完成を望むものである。両事業とも国土強靱化計画に基づく交付金を活用しているが、今後も有利な地方

債を活用するよう求める。

また、今回6月中旬頃から発生しているアコヤ貝のへい死について、現地の被害状況、また生産者の聞きとり調査を行った。

へい死の原因はまだ特定されておらず、本町でも改良交雑貝、耐性ペルシャ貝など優良な新品種の開発や、耐病性獲得に向けた選抜育種を実施するなど様々な対策に取り組んでいるところであるが、高水温になる夏以降のへい死が懸念される。現在（7月20日）は少し落ち着いているとのことであるが、今後もへい死が続くようであれば、全国的な真珠母貝の主要生産地である本町にとって、基幹産業の存続を揺るがすだけでなく、真珠業界を脅かす大きな問題である。引き続き「死なない貝」の開発、夏孵化の緊急生産、稚貝の無料配布のほか、補助金等経済面からの助成など稚貝・母貝の安定した供給が出来るよう支援を求める。

以上、産業厚生常任委員会の意見を集約した調査結果報告とする。